

のやうな風の吹き捲く際には努めて掘水することが最も肝要である。掘水用の用水、其他の關係に就ては水道係なり其他に交渉して

▲街路の乾燥を防護することとは健康保持上重要なことであつて彼の恐るべき猩紅熱の如きも咽喉の痛みを附け一日として留して来るものであるから一層の警戒と注意とを要するに其醫師は認めた

●京城を荒した女泥棒

連累者と共に監獄に入る

二月、中京城本町警察署の刑事と大捕間の末、取押へられた、任佐縣佐佐都松、捕生れの筒井半五郎(一)島根縣、廣田郡、富村生れの玉木庫太郎(二)京都市下京區伏見街道生れの藤見政治(三)廣島縣、美土郡、長崎村生れの玉木康太郎、内務省の奏請によつて、譯は何れも京城に居住し其謀の上否則を究し廻りて、寫取したる衣類雜品は數百點に達し居れり。筒井玉木の兩名は何れも數回入獄したる大泥棒なるが此程京城地方法院に於て筒井は懲役十二年、玉木は同十年、藤見は一年六箇月、

により琴機を御覧されたるより翌日
 へに起きたる際さまが機手の命な
 とて琴機を拒みたるを憤り突然
 臥を以て同女の頭部を亂打したる
 著衣を引き裂き六圓餘の損害を與
 たる爲め本町署に收致されたり

總督代理の訓辭
 高等女學校卒業式

原城公立高等女學校の第八回卒業式
 に於て廿四日の午前一時から始まつ
 式場は講堂の大禮堂 正面には
 校旗及び校章

草花を添けた卓子も置いてあつ
 たる。總督代理の唱辭が終つて成
 田校長の勸語挨拶が了ると再び生徒
 同の勸語奉答の唱歌が有つた。次
 いで校長の理事報告があり猶ほ卒業
 生に對する勉書授與並びに優等生、
 出席席者に對する賞品及び賞品授與
 が済むと、再び校長より卒業生に

京城高等女學校卒業式

し一場の謝辭が讀みられた。卒業生も人格を仰ぐ幸福なる將來を送ることを祈る」とは卒業生の身に溢れた喜びと感激の表れであつた。

次いで寺内總督代白井陸軍少將の訓辭讀出には「諸君は專ら内助の人となり輕躁浮薄な時勢の風潮に陷る事勿れ」といふ要もあつた、猶ほ猪俣道長官の訓辭は分發第一師團代讀したてで父兄一代として課長事務部長の謝辭があり終りに卒業生一同が一仰げは豫め春の國事を唯々留意外にはチラチラと出陣の準備をして居たが處に當りては

（略）へ附くべきは同十一時半に終了、猶ほ今年の卒業生は總て八百八十八名の百五名に比べると略ぼ同數の卒業生であるが來年からは大に増する筈である、また補習科は去る四月十四日創設以來今年第六回の畢業生を出したが都合により今年からは是れを止むから知れぬので今年廿名は恐らく最盛の卒業生であらう

本年卒業生の中に
● 福島の卒業生は
● 青森の卒業生は

運 娯 日の 祝 第 百

鑑隊見學團の入京

鑑隊、乗組員京抵見學團約三千二百に對し鐵道局にては廿六、廿七仁川南大門往復の臨時列車運轉列車往復とし人員の都合にて一のみにて是足る時は第二列車の中止する手筈なりと

列車仁川行前七時十分
 南大門發午前三時五十分
 南大門發午後二時四十分
 南大門發午後三時十分
 南大門發午後四時十分
 仁川支那發午後廿八分



受領
 奉還
大橋香油

金を黒く長くつやを磨き
 りく。 藥のむけ方々事考

拾ひ物の拂下げ 京城本町
 は拾得物にして遺失者不明な
 のを二十五日午前中同署構内に
 却すべしと

東雲書院塾生同會 東雲書院罪同
 京城在任の商家園出派の泰斗
 東雲書院の東雲書院が來りて二

第一回抽籤金拂込（大正五年三月十日限客株に付金拾貳圓五拾兩銀五拾錢附第一未商の株主は来る四月五日限り延滞利息相返へ左に據り其便拂込相成度候若し期日迄に御拂込無之ときは西法第百五年三月二十二日）

朝鮮輕便鐵道株式會社

創立委員長 牟田口元學

東京 朝鮮銀行 中央銀行 安田銀行 帝國商業銀行 三十銀行
拂込取扱所 中央商業銀行芝支店 帝園商業銀行大阪支店 第一銀行大阪支店
山縣岡田 朝鮮銀行 百三十銀行 博多支店 朝鮮銀行 釜山出張所 百三十銀行 釜山支店

山縣五十雄氏 村上唯吉氏合著

富の道しるべ

誰と貧乏に厭で、安樂有福な暮らしを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります。此本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出来るかといふ事を、誰にもよく分かるやうに易しく面白く書いてあります。例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歳の水吞百姓が引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた

第三艦隊 仁川入港

上海軍中將の麾下に屬する第三艦隊は、昨、該司令官の坐乗せる旗艦「鹿島」を先頭に、郵船「泰山」(鹿島は入港せず)所屬驅逐艦隊七隻は二十四日午前十時、船體相觸りて入港、尾島沖に投錨せり。此の日の空、薄曇りたれど、靜穩なる海上に、霞棚びきて、風波起らず。新館主南洋諸島に曳航たる帝國戰艦を、示し、遊れる。餘艦三隻の洋々たる春の海に、單艦隊を布いて、

尾島沖の壯觀

仁川の市中に便はるや、市人港の報市中に便はるや、市

渡りの埠頭は、既に

一帯に歡呼の叫び、動搖め

人垣を築く

程なりし

一橋郵便局長、奥田會頭等は、

司令官を訪問し、先著

る森海軍武官等と共

司令官室にて會談、數

の從同、司令官、各艦長等の見送

乾燥するところ、殊に影し
 のである、殊に春先きとも云ふべ
 昨今は所謂大陸風の名残りを受け
 土砂を吹き捲いて来るので、街路は
 かも火事場のやうである、一體に
 南の稀れた朝鮮では大地や客家の
 煤から受ける病状が多い、第四
 都を船めて須賀支に及ばし、或は鼻
 客に置り又は眼を傷める等のこ
 は少くない

皇等は市街地たる京城
 は殊に注意すべき問題で、一面から
 塵埃の爲め市街装飾を傷け、各店
 折衝の貨品も塵埃に埋まるといふ
 なことに陥る、衛生上、美観上可

分洋渡しありたり

●密陽農場焼く

廿三日午後四時頃密陽城內中區某方の
煙筒より出火せしが火は附近某村
所支廳官舎及び勸業園農場全部に及
びし金燒六半半燒數月にて午後六時
過ぎ鎮火せり目下損害調査中(中略)

●下駄で頭部を
亂打す


岡山縣吉備郡琴材村に當時京成黄金
町二三丁目理髮師池上梅造とは以前
より新町遊所太平台の娼妓口あき
上に馴染みを屯ねたるが三月十六
日夜姿纏して亂走を働きたる爲め同

りであるが、進んで専門の學校に入
る者は本科十二名、補習科一名
計は高等師範、女子職業學校など
主で中には英語模範美術學校志望
人もあるまた、理科の優等卒業
生は十九名でこの人々に對しては特
京鐵道部から婦人の鑑一冊宛を
與された、猶ほ優等生中大塚いね
と藤子で、西島鶴子、廣川しの四
人は四年間出席が美しい硬筆を書
き、科学學生の姓名は次の通
である

四名、山田こゝろ、原淳子、渡江美子
五名、木村立子の、浦田つとむ、岡田
大輔、小宮大樹、佐々木加代、同谷
吉太郎、大塚いね、實久松、同谷
吉太郎、青木地蔵、大塚いね、廣川
しの、山崎健三、山崎健三、横山貞
隆彦、との十九名

觀世流素詣會　京都観世會
ては廿六日午前十時より、その本館にて會
々場として三丁目の觀國寺に於いて當
品尺五紳本十圓席上御定は抽籤
分與の筈申込所は眞洞東雲齋也と
衣本にて開催する山部日は在京
家及び東京社組人の席上捲毫を
客なれば是めて盛況なるべし陳
旭琴琵琶會　旭琴會には二十
餘年以來、大勢の曲者に於ける聲色
よくして同好者の多數發奮を希望すると
▲二十四日の高等女學
校卒業式後來賓の紳士
連打斷つて二階の生徒

冊の代價は僅に十五錢、送料は二錢、雜誌
 冊の値段ですから捨てたと思つて、買つ
 て讀んで御覽なさい、成程と御悟りになつ
 て、大きな徳をなさる事は請合です。
 一手販賣 京城日報社代理部



輕快あるキヤップ（食打帽子）
 ソフト中折
 の 帽子には
 御兒様用の流行帽子！

活動寫眞常設館より出火
して十八戸を焼き拂ふ

● 掛物研究
眞物を欺く偽物が多い

で、陳毅は千坂百嶺も所有して居つた柳で、
ある、京都、東京等の商人の手中にも、
の印刷屋と云ふた様なものがあつて、
陳毅後の生徒に「毛用紙」を配布して置いて
生徒が稽古に附いたものを貰ひ受けて、
之れに適當な落款を

密に用ひて其の計を成す。其の土地は悪く
 なるを以て、柔なつて居るし、其の上初から見れば其
 の國がよく見え、之で、衆民歸の處などは、時
 々の所々よく見え、之を察するさうだが、表面か
 ら見て、大抵手附が巧妙なので、黒人皆因てさへ
 變化されて下へふがある位だから、條程注釋す
 か

事あるにである。處が又一方料理に急いでゐる。此の間に、
 直物の名齒掛けて置くと、心ない客が何
 間かに階の懸籠に取り返しの付かん事か
 しまふ事がある、先年仁川の一止樓で守付
 の盡した大船の艀の掛物に、誰れがしたの
 馬と間違へた。圖でもなかりうに、草紙の火
 も

成續品を巡覽した▲卒
の手になつた成續品には先づ大
唐紙などに書かれた筆蹟も頗る
あつたが來賓の紳士連は何れ
も「さばかり感心の能▲中

日出入魚印帽子は常に

流行界の霸王たり

各地有名な帽子舗各店にて
肉色に定の上物専賣店上候

▲朝日館より出火
廿四日午前四時二十分釜山幸町一丁目十番地の二層贅新敷所有活動寫眞常設館、

同所にて著人澤端瑞大會を催はし、二時既に終了せしより其後、結束り取片付を充分にせざりしため、火の

名畫へ入れ眼

藝は學者で好事家に依つて追々古美術が
突然認めれる結果一般市民の之に對する感
も漸く深くなり、従つて其の鑑識力も近年非
に向上して來た爲に、數年前迄の様に、踏は

記入して時代をつひ
 方具をて、一福三圓三十粒位の相違で仲間
 商人が加らず、仲間の商人は之を田舎に携へ、又
 は素人な相手をして高價に賣り付けるのである
 彼等仲間の通賣業も、萬路等仕入と稱するの
 に即ち之で、明治なまでに、八九年大坂の一

京きやう城じやうにき來きてる居ゐる僞ぎ物ぶつ
 の中なかにでは支し那な書しよが
 文ぶん明めい 王わう石しよ谷こ、九く美み
 南なん田てん等とう始はじめに真ま物ぶつに接つる事ことは稀まれである。

取返しをつかない
 大迷惑をした事が

「我が手前が恥かしいと頭を掻くもあつたが殊に四、松、隈部、曾子記された掛軸の前では『お父さ、顔色無しだ』などとお父さんの部長が戯談をいはれた▲次ぎに

開業御披露

製造元 東京 吉安商店

[illegible]

何處か落ち付いた氣
分の裡に之を研究的

に約十本堀川に持つて来て之を買つた事が
あるが、昨今之れが京城の市中に十五圓四十圓
の三、四圓段でガッパの如て居る程である。何ほ
又相當名のあつた書物でも、出来のよいもの
になるより、紙の記入換をして、其の額を以上に

[illegible]

る。之れは曲人の、種族が、起つた事で止む

ら足袋、袋物、刺繍などさへ陳べ
つた▲奴中毛織物洗濯の部にモ
シンの風呂敷などを綺麗に疊むだ
もあつたが白井少將はニコ／＼

生そ^ば並に御料理
向ふ二週間は御披露の爲め添物進
呈可仕候
京城本町二丁目(京城参番並)

釜山富女卒業式 釜山公 櫻楓をなし校長は來賓に對し十年
も火勢頗る強烈にして漸く 災の四千五百圓 豊國大災の三三
午前六時廿分に至り、焚火せり全焼十 等あり主なる類焼者は讃岐屋商
八月、半焼一戸、焚火の原因は前夜 ビデオ屋商店、井上自轉車店、

國に
つた親の代かもの感指して、其の眞作は實に
物の山頂以上のものも少くないとの評である
又論に於ても華川、盤舟、竹田阿でも脚蹴

故野君の子の祝賀、生徒總代三年

此の場合落駄を抜い
た跡には適當なもの
を敷き加へて糊塗するのであるが、抜く地方に
は子の三名なり、午後一時より講堂一掃

正の如く變更ありたり
其來歴を知つて居る
人など實際返答に窮

運絡船上陸客 廿二日午後

やるが親父には一向平氣なものがく家で斯うは行らんぞやなう一

高值主義
未
電話一五八四番

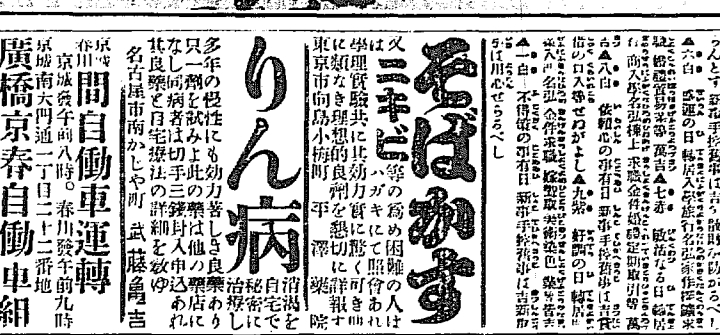
醫學士宮田權之丞先生が多くの監製の中で一番能く効くことを證明

られた膿臭水は膿臭の病源である
 腺皮脂腺に作用しておきかを治す
 の効能がすぐれて居ります殊に現今
 暑中、透び汗の出るのも少なく



を治癒するに今が一帯よい時です
 リフレナ一時押への薬と過ひます
 少ししてもわきの下のくさいと思

わき 強ん 復元 作製 して



利益配當報告

附保險ニ加入セラレタル方へ
三付金六圓ノ割合ヲ以テ

大通リ
林險株式會社
長 西勝濟三郎
取締役 清水文之輔
東京支社
社長 長島貢介

入院隨意（診療後九時迄）
 泌尿器病
 淋病
 梅毒
 皮膚病
 門專
 目丁二町
 院醫部安

有限
配金及利
身保險
及利金配
此外ニ掃渡
ハコトアリ

二、甲種生
存分配金及
利金當附特
別保險
四、保險

會の絶好機
入會者ハ
六ハ尙入會
金を免除す

只養成講義錄
成養講義錄
成養講義錄

學校則ては仕賃ハガキに進呈
銀行會社事務員養成所

東京市本郷區新花町
日本農學學校

無監自來水

わきが

●今が治る。夏も冬も。暑くても寒くても。何處でも。何時でも。

醫學士宮田健之丞先生が多くの物
 藥の中で「一番効くことを證し
 られた酸臭水は腋臭の病源であ
 る皮脂腺に作用してわきがを治
 る効能すぐれて居ります殊に現
 象中と違ひ汗の出るのも少なく



て作
用強
く夏
も冬
も使
え

を治癒するに今が一市一井の時です
 リフレナ一時押への薬と違ひますす
 ら少ししてもわきの下のくさいと思

利益配當報告

附保險ニ加入セラレタル方へ
三付金六圓ノ割合ヲ以テ

大通リ
林險株式會社
長 西勝濟三郎
取締役 清水文之輔
東京支社
社長 長島貢介

有限
配金及利
身保險
及利金配
此外ニ掃渡
ハコトアリ

二、甲種生
存分配金及
利金當附特
別保險
四、保險

會の絶好機
入會者ハ
六ハ尙入會
金を免除す

只養成講義錄
成養講義錄
成養講義錄

學校則ては仕賃ハガキに進呈
銀行會社事務員養成所

東京市本郷區新花町
日本農學學校

京城日報

廿五日朝刊
(頁八てせ合と刊)

轉居の記

蘇峯生

南北兩軍形勢

南軍各所に振ふ

北軍各所に振ふ

南軍各所に振ふ

北軍各所に振ふ

南軍各所に振ふ

北軍各所に振ふ

南軍各所に振ふ

威興の輿論

村田俊彦

威興の輿論

威興の輿論

威興の輿論

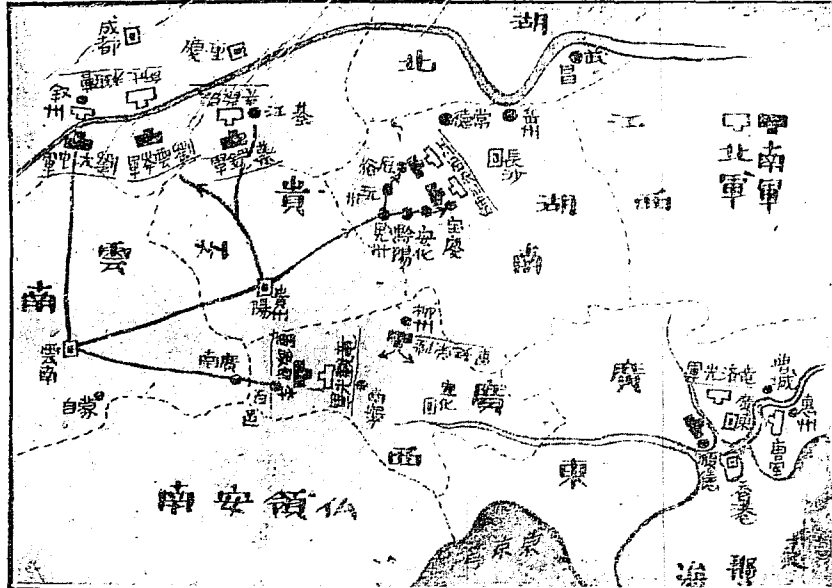
威興の輿論

威興の輿論

威興の輿論

威興の輿論

威興の輿論



南安領内

南安領内

南安領内

南安領内

南安領内

南安領内

南安領内

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

轉居の記

實業之今日

朝鮮の煙 三美の子豚飼 朝鮮金儲物語 五萬圓店員 内職商賣

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

支那語大辭彙

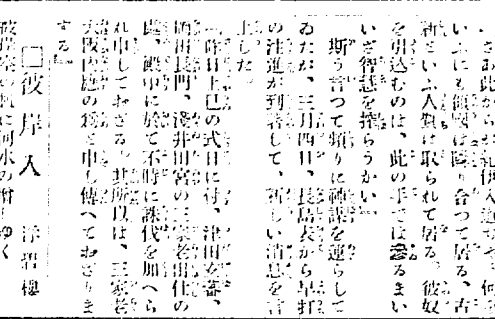
支那語空前の權威

支那語大辭彙

支那語空前の權威

運致にて乳し禁ふ所可仕候
運致にて乳し禁ふ所可仕候

寺 清

[illegible]

● 間接輸入のラッパヤ等に大切あり
● フルエンツリヤリヨウマチ
● 二包入箱拾包入止銀八匁三十錢
● 十匁入五上時
● 大阪堂
● 同心擔揚
● 高橋盛六堂分

のやうに
キツト
茶を!!
ナイスの五大特長
①タツタ二十分も飲
②水く保ち硬す刺す
③飲後に汚濁つかず
スー
赤ガラシ



國用方至極手經なり
價小大
男子用瓶價
價四三
十十
錢錢

貴發
會商平丹

大坂 東京

殺我

ナイスの五大特長
 ①タツタニ二分の長さ
 ②水に浸すと髪が刺す
 ③毛の根を壊す
 ④髪が自然に抜け落ちる
 ⑤髪が自然に伸びる
 価格 小瓶 四十四銭
 大瓶 八十八銭
 男用 三十三銭

ナイスの五大特長
 ①タツタニ二分の長さ
 ②水に浸すと髪が刺す
 ③毛の根を壊す
 ④髪が自然に抜け落ちる
 ⑤髪が自然に伸びる
 価格 小瓶 四十四銭
 大瓶 八十八銭
 男用 三十三銭

自然の黒髪
 のやうに
 キット
 染る!!

ナイスの五大特長
 ①タツタニ二分の長さ
 ②水に浸すと髪が刺す
 ③毛の根を壊す
 ④髪が自然に抜け落ちる
 ⑤髪が自然に伸びる
 価格 小瓶 四十四銭
 大瓶 八十八銭
 男用 三十三銭

東京大
小問物
店

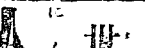
（痛）
店

誰方の

非常に美しく
塗りぬり製

本

世界の人気の
更なる



本カー白粉は、弊店試
を便つて製出した他に全
合はない白粉と云います
く塗り新発見の、ぬり製

▼直轄本

性せいにも合あわ

小力せうりき白粉おしろいは、
 類るいのない最も優良な白粉でございます。
 が、此白粉は誰方の性にも合ふので、
 白粉できつと、各位の御満足を得る事と
 有名なる小冊物店、化粧品店等にありませう。品切れ
 絶多量に於て、郵送、針金、掛紙にて、御注文を願
 定 價 一 瓶 貳 拾 五 錢 送 料

煉乳
ポマ

白粉

に種々奇異なる美白原料
皆様の性に合ふ白粉と
て不思議なほど白く美し
く信じます。

ひます。


内地八錢

[illegible][illegible]

自他種に於て 治るゝが、いふ程に
 に實際の効力を試験して居ります
 この良薬であるとの證明を得て居る

ばいりん病毒

療法に間斷無く改良を加へて行くが
 昨年試験に達します。詳細は本月刊
 にはいり毎週一週間に普通通達局に拾は



各種
石鹼
今
本

防出所隣
本石鹼工場
電話二二二九四番
振替京坂三二二九番
通して居る。又、本工場に於いては、
本工場の東、常に世界唯一無
二の設備の良所を取つて、味、
内外停車場通り
香港鮮本部
二五六七番 振替京坂四六七番
合資会社 ドラツタ商會
本工場は、電力に對する
ドラツタ商會より、注意を乞ふ
照會は、返信券を要す。

[illegible][illegible]

進歩せる國民に
は進歩せる藥劑
を要す
是が理想的なる
は大學目録也

內科 小兒科
皮膚病 花柳病
入院隨意
小兒科
多

新報版
今日
東西
牛
武田
裁

多々見 醫醫院
 院長 醫學博士 多々見五郎
 電話九四〇番

縫書 空
 各物 定価 部十二銭

料理
 定価 十銭
 定価 十二銭
 定価 十五銭
 定価 十八銭
 定価 二十銭

二町半 城奈
 目了 一五
 七五

<p>大坂商船出帆</p>	<p>日本郵船川出帆</p>	<p>自働車支那</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>
<p>大坂商船出帆</p>	<p>日本郵船川出帆</p>	<p>自働車支那</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>
<p>大坂商船出帆</p>	<p>日本郵船川出帆</p>	<p>自働車支那</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>
<p>大坂商船出帆</p>	<p>日本郵船川出帆</p>	<p>自働車支那</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>	<p>自働車時間表</p>

[illegible]